

各位

新経営研究会
代表 松尾 隆

挑戦者本人が語るイノベーションへの挑戦

2026 年度後期「イノベーションフォーラム」のご案内

— 急速に進む AI/IoT などDXとGXの本格化、科学技術本流の画期的変化、激変する国際環境の中で求められる日本のイノベーション —

謹啓 盛夏の砌、貴台におかれましては愈々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

弊会は去る 1982 年、同士が相語らい、急変する企業環境と科学技術本流の画期的変化の下、各企業が夫々の特徴を発揮し、わが国ならではの技術・製品開発と“ものづくり”、独自の企業価値を創出来る道を求め合って行こうと、主としてわが国企業の“技術・製品開発”と“ものづくり”の中心にある役員・幹部、アカデミアの方々が産業と分野横断的に交流し、相互啓発し合える機会と場の必要を求め合って発足させた同志会です。お陰をもちまして、今年、弊会は発足 44 周年、来年発足 45 周年を迎えさせていただきます。

思えば蝸牛の歩みの様な毎日でしたが、時代は正に、日本にとりましても世界にとりましても、大変革の 40 年でありました。

さて、弊会が発足と共にスタートさせ、爾来、皆様のご高評をいただいて参りました弊会の主軸事業“明日の技術・製品開発と新たな企業価値の創出を求め合う”「イノベーションフォーラム」も、お蔭様で今年ご高評裡に発足 44 周年を迎えさせていただきます。関係者一同、改めて衷心より厚く御礼申し上げるばかりです。

時代は生成 AI、GX 化の要請、科学技術本流の画期的変化...同時に今求められている独自の美意識と価値観...

私たちは今、時代の変化に対応出来るイノベーションを推進すると同時に、固有の文化に根付く、掛け替えのない、多様な独自の美意識と価値観の回復を求められていると信じます。

日本は如何にして、この生成 AI を含む今後のデジタル化の進行の中で、日本の強み、日本独自の価値観と美意識を発揚し、国際競争力と国際貢献力を合わせ持つ、独自のイノベーションを実現していけるか問われていると、確信しています。

この未曾有の時代環境激変の今日、私たちは産業と分野、国と文化の壁を取り払って今日の各々の問題意識とビジョン、挑戦的試みを交流し、「感動的出会い」、「本質に触れる機会」を開きたい。その感動的出会いが既成の通念を打ち破って新しい多様な世界に目を開かせ、明日の指針と希望を開き、人間形成への掛け替えのない機会となる、と確信する次第です。

新経営研究会の求めるべき道の命は、「“感動的出会い”と“本質に触れる機会”、そして“夢とヴィジョンを語り合える機会と場”の創出」と定めて、邁進しています。

是非とも貴台、また御社からのご参加を賜りたく、幾重にもお願い申し上げます。

敬具